

2024年12月20日

～食品ロスの削減や環境負荷の軽減に貢献～

微生物の増殖速度予測に関する共同研究が論文賞を受賞



「食品衛生学雑誌第64巻論文賞」賞状

マルハニチロ株式会社（本社所在地：東京都江東区、代表取締役社長：池見 賢）および国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構（所在地：茨城県つくば市、理事長：久間 和生）は、食品中の微生物の増殖速度を簡便に測定する共同研究（以下、本研究）の成果をまとめた論文が評価され、公益社団法人日本食品衛生学会より「食品衛生学雑誌第64巻論文賞」を受賞しました。

本賞は、日本食品衛生学会が発行する「食品衛生学雑誌」に掲載された論文の中から、食品衛生研究への貢献が期待されるものに授与されます。

■ 受賞研究名

「カロリメトリー法を用いたマッシュポテト中における *Bacillus cereus* の最大比増殖速度測定と増殖予測モデルの作成」

■ 本研究の背景・成果

食品の賞味期限を設定し、微生物のリスクを評価するには、製品中の微生物の増殖速度が指標の1つとなり、さまざまな条件下においてデータを取得するには、複数の検体の準備やデータ測定に多大な作業時間と労力を要します。本研究は、微生物の増殖に伴い発生する熱量を直接計測する「カロリーメトリ法」を用い、食中毒の原因となる*Bacillus cereus*（バシラス セレウス）の増殖速度を簡便に算出することで、食品中の微生物リスクを短時間で把握することに成功しました。

本技術は、適切な賞味期限の設定や検体数の減少につながり、安全・安心な食の提供、食品ロスの削減や経済負荷・環境負荷の軽減が期待できます。

マルハニチロはこれからも食に関する積極的な研究開発を通じて、お客さまの豊かなくらしに貢献してまいります。

以上

報道各位からのお問い合わせ先

マルハニチロ株式会社 経営企画部

ブランドコミュニケーション・広報グループ

メール koho@maruha-nichiro.co.jp
